



Title	CRESCENT (クレッシェント)
Author(s)	多田羅, 景太
Citation	デザイン理論. 2017, 69, p. 78-79
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/65029
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

CRESCENT (クレッシェント)

多田羅景太／京都工芸繊維大学

(1) 企画意図

近年国内市場において様々な子供用家具が見られるようになったが、海外と比較するとその種類はまだまだ少なく、キャラクターなどの力で購買欲を抱かせようとする製品が多く目に付く。一方でホームユース、コントラクトユースを問わず、長年の使用に耐えうる誠実にデザインされた子供用家具への需要が高まりつつあるのではないだろうか。本作品はこのような需要に答えるべく、シンプルで機能的かつ長く愛される子供用家具の開発を目指した。

(2) 作品概要

幼稚園や小児科など子供が利用する施設において、子供達が楽しく使用できるスタッキングツール。使用するシーンや人数によってさまざまに配列をアレンジすることが可能であり、子供のアイデア次第で遊具としても利用できる。座面には抗菌性の高い桐を使用しており、桐特有の優しさと温もりが肌を通して伝わる。また軽量であるため、子供による持ち運びや配列が可能。なお、使用しない時はスタッキングして美しくかつコンパクトにまとめておけるよう工夫した。

(3) 創意・工夫

桐は「優しい」「温かい」「軽い」という特性があると同時に、「柔らかい」という側面も併せ持つ。そこで座面の強度を高めるために繊維を直交させた積層構造とした。また、座面を三日月（クレッシェント）形状にすることで、さまざまに配列をアレンジすることを可能としているが、視覚的にも「温かさ」や「優しさ」を表現するため、丸みを帯びた三

日月形状を採用している。また、子供でも持ち運びやすいように座面には取手を設けた。なおデザイン要件の一つであったスタッキングを実現するために、脚部には金属製のパイプを使用しているが、これまでの桐製品にあまり見られなかった桐と金属との組合せに新たな可能性を感じている。

(4) デザインのポイント

- ① 軽くて温もりのある桐材を座面に使用した。三層に積層することで強度を座面の強度を高めている。



- ② 座面には桐の積層材を使用し軽量であるため、子供でも持ち運びが可能。また、座面には取手用の穴を設けた。



③ 幼稚園や小児科などの公共施設などにおいて、子供達が楽しく使用できる。子供の想像によるアレンジ次第で遊具としての利用も可能。



④ 使用しないときはスタッキングして美しくかつコンパクトにまとめておけるよう考慮してデザインした。最大5脚までスタッキング可能。

